

市議会議員

かけのまち子

電話/Fax 53-7727

kakenom@xi.commuja.jp



市議会議員

みわ 陽子

電話/Fax 54-6712

yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.556 2024.8.8

日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753

元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

日本共産党江南市議員団 HP



検索

*困り事は早めにお気軽にご相談ください

江南市地域公共交通会議開かれる 路線バス実態調査の実施・いこまいCARと福祉タクシーの並行登録を可能に

8月5日に江南市地域公共交通会議が開かれ、議員団で傍聴しました。令和5年度の自己評価、課題と令和6年度の取り組み方向が示されました。

令和5年度は、路線バス利用者がコロナ禍による減少から回復してきた中、逆にいこまいCARは利用回数が大幅に減りました。迎車料金をはじめとする運賃の値上げと時間指定予約料金（名鉄タクシー）の徴収が響いたものと思われます。また、いこまいCARと福祉タクシーチケットの選択制（どちらから一方の制度しか利用できない）を改善し、令和7年度から並行登録できるよう担当部局と検討中であることが示されました。

第1回検討部会の報告として、AI オンデマンド交通の調査からわかった課題と北部地域での新たな公共交通の方向性が提示されました。

①市内の狭い道路状況に適應した車両のサイズの選定 ②既存公共交通への影響を考慮し、路線バスへの乗り換え拠点の設定や、いこまいCARのひっ迫を軽減する運行エリアの設定 ③元気な高齢者や子育て世代を対象とし、いこまいCARとすみわけをする ④同じ時間帯に同じ目的地に行くニーズをまとめることで運送効率を高める。などです。

今後開催予定の第2回検討部会では、新たな公共交通のいくつかの案を提示し協議すること、路線バスの実態調査を今年度4回実施し、ダイヤの適正化と利用促進を図る方針も示されました。

初めて

戦没者追悼式で広島平和教育派遣児童が意見表明



世界平和を願うパネル展が、市民文化会館、市役所、すいとびあ江南で開催されました。

8月1日、江南市平和祈念戦没者追悼式が市民文化会館で行われました。式典では、6日の広島平和記念式典に参加するため江南市から派遣する13人の小学生のうち、2人の児童が代表して初めて意見表明し、平和の大切さを語り継ぐ決意を力強く発表しました。児童13人は、8月5、6日の2日間の広島滞在中に、原爆資料館を見学。被爆体験を聞き、平和記念式典にも参

加しました。派遣終了後は、各学校で体験発表会も開かれる予定です。

唯一の戦争被爆国・日本が、国連の核兵器禁止条約に未だに署名・批准をしていません。江南市長も国の方針に追随。江南市議会も、核兵器禁止条約への参加を求める請願を近隣自治体議会の中ではただ一つ不採択としたままです。

今こそ公共の再生を 自治体学校で学んできました。

7月20、21日横浜にて

みわ 陽子

1日目 記念講演 安田 菜津紀さん(フォトジャーナリスト) 紛争地、被災地に生きる人々の声

ガザ・シリア、陸前高田で取材した写真を示しながら遠いところのこととせず、今自分たちができることを考えようとの訴えが心に響きました。

2日目 分科会6 自治体民営化のゆくえ

PFI方式(民間の資金やノウハウにより公共施設の建設や運営を任せる方式)や指定管理者制度(公共施設の運営を民間やNPOなどに任せる制度)が国の主導で進められてきたが、利益を得るために必ず人的経費が減らされ、事故が起こったり、失敗したりすることが多い。住民運動によって阻止できた例もあることを学びました。

かけのまち子

2日目 分科会9 震災と水道事業「命の水を送り続ける」

名古屋市水道局は能登半島地震災害の水道の復旧のために、延べ975名も派遣。活動は、土中の水道管の掘り出し、被害確認と復旧工事、浄水場・取水口被害の復旧、住民への給水活動など幅広い分野に及んだ。命の水を送り続ける非常時の現場力は、十分に経験を積んだ豊富な数の職員と非常時を想定した日常業務の積み重ねと訓練の結果、発揮できる。

効率化の名で進められた委託化と職員の削減、広域化によって、今、全国自治体の災害対応能力は脆弱になっている。石川県珠洲市水道局には職員はわずか2人しかいなかった。名古屋市水道局が、震災復旧の中心を担えたのは、職員の削減を最小限度にとどめ直営体制を守ってきた賜物であった。

国が進める水道事業の民営化・広域化では、災害対応能力は弱まるばかり。この流れをストップさせ、人材確保と人材育成、公共の業務を再構築しなければならないことを学んだ。